活動情報 取組項目 体制整備構想の策定 組織名 三区町環境保全隊 那須 管内 那須塩原 市

活動目的:体制整備構想(案)の策定

21年4月に設置した「体制整備構想策定」のための運営委員会も6回を数え、将来体制の見通しを明らか にするための家族構成・年齢構成等の調査もほぼ終了、12月18日の運営委員会に於いて「共同活動の将 来像」「将来展望を実現するために取組む具体的方策」の(案)を、これまでの共同活動の実績と活動を通し ていただいた多くの意見、そして運営委員会の話し合いの結果等も踏まえて作成し運営委員会に提示した。



来年 1 月には全体について再度協議し、2 月に最終案を決定することになっ ている。6回の運営委員会の出席率は約86%で、真剣に話し合いを進めて くれた委員の皆さんに感謝している。18日の運営委員会では、19年度~ 21 年12月までの主な活動をスライドで振り返り、活動そのものが確実に レベルアップしていることを確認し、残された二年間のさらなるシベルアッ プとその後の継続的活動をするための協議に取組むことを全員で確認しま した。

(添付様式6)

三区町環境保全隊 体制整備構想(案)

(農地・水・環境保全向上対策(共同活動支援交付金) に係る体制整備構想(案))

			に係る体制登備	
	:同活動の現状 活動組織の構成員の	D役	割分担	
	構成員	L		
農	業者(生産組合)		地・水・環境保全活動の中の基 を他の構成員と連携しながら活	
2	☆農活動グル−プ	10	境負荷低減に向けた取組を広く いて他の構成員と連携しながら との交流活動、都会住民との交	
地区	行動隊(非農業者)		礎活動と農地・水向上活動の- する。(用水路の草刈、施設へ0	
三区子供会育成会			農村環境向上活動を他の構成員 農業体験学習への参加、那須野・	
福寿会(老人会)			展村環境向上活動を他の構成員 への参加など)	
農協女性会			農村環境向上活動を他の構成員。 への参加など)	
ひまわり会			農村環境向上活動を他の構成員。 への参加など)	
三区消防団			地・水向上活動の一部と農村現 気象後の見回り、地域住民との	
4:	分水管理委員会		礎活動と農地・水向上活動の- する。(施設の点検・機能診断、	
X	り込どじょっこ会	農	村環境向上活動を他の構成員。	
そす	いの郷三区部会	農	村環境向上活動を他の構成員。	
那須里	Fヶ原土地改良区連合	活	動全般への指導・助言・資材等	
那須	颠疏水土地改良区	活	動全般への指導・助言・資材等	
濺	5動組織の意思決定 案は出席した構成! 5動組織の資金計画	₫ Ø.	方法 過半数以上により決定するこ	
	項目		主な交付金の	
基礎部分の活動に要する 経費		5	水路・農道の草刈機替刃の めの砂利購入費、水路の土 ラック代等リース代、参加構成	
誘導部分	農地・水向上活動に 要する経費		水路フェンス等水利施設の の資材費、草の適正処理等 げ料、参加構成員への日当	
	農村環境向上活動 要する経費		生態系保全に関する啓発・1 めの苗等購入費、水質分析 の日当など	
活動(祖轍の管理運営に 至費	E.	活動組織の管理運営に係わ	

숌

21

将来の体制の見通し 活動の担い手の年齢構成等(現状) 本活動組織では、基礎部分の活動は農業者が、農地・水向上活動は、農業者

農業者、自治会、農協女性会、ひまわり会が中心となって行っている。 主な担い手の年齢構成等は下表のとおり。

構成貝	人数(人)	平均平断(数)	65歳以上の割
農業者			
自治会			
農協女性会			
ひまわり会			

高齢化を踏まえた概ね10年後の推定 10年後に、現在65歳以上の担い手が活動 動人員が減少すると見込まれる。

共同活動の将来像
当地における農地・水・環境が有する社会
①農地は、食糧を生産するための最も基礎
元、住民の生命・財産を予役割を果たして
②農業用水は、食糧を生産するための最も
で重要な役割を果たしている。19年度より頃
に、最近ではドジョウの増加やホタルが成立
ている。
39当地区の農業用水路は、日本三大疏水(流れ、安心・安全な農作物の生産に重要な ④清らかな疏水と緑豊かな那須の大地は、れる人々にゆとりと心の豊かさを与えるなど

⑤当地には、那須野ヶ原開拓と那須疏水制 二農場跡地」があり、「歴史公園」として整何 の力で守り、次世代に継承していくことが3

将来展望 ①三区地区の農地・水・環境は地域共有の 幹」により、農業者と非農業者が一体となっ ②地域住民全体で取り組むに当たっては、 役割を分担し、資源の適切な保全を図って ③高齢化により、10年後の農業および農地 されることから、様々な活動を通して新たな ④農地、農業用施設を保全しつつ、減農薬業・農村づくりに取り組んでいく。

地域農業の担い手の育成・確保 活動組織において主要な役割を果たす農 の体制の強化につながることから、担い手の 具体的な目標は下表のとおり。 内 容

将来展望を実現するために取り組む具体的方策

①当地域の、歴史的シンボルである那須疏水と緑豊かな那須の大地を将来に亘って保全するために、地域 いる。 は民の投票で決定した地域の合い言葉(スローガン)"好きです!那須疏水と緑豊かな郷・三区町"、"守ります!那須流水と緑豊かな疏水が・三区町"、"守ります!那須流水とは豊かな疏水が。 ます!那須の大地と清らかな疏水"を、未来永劫地域住民の心を一つにするための言葉として浸透させる。

②三年間で築き上げた"人と人との絆"をさらに確かなものにするための取組として、残された二年間の活 動をさらにレベルアップすると同時に、バランスのとれた活動と新しい取り組みを実施する。

つある生き物の保護と生息できる環境づくりのため、地域の子供会育成会や小学校などと連携し

④活動組織の長期継続と体制強化を図るため、歴史的施設を守るために地域の有志が立ち上げた「歴史 公園を守る会」と連携し、23年度10月までにNPO法人化することを目指す。

⑤地域の魅力や地域を守るための取組を、平成21年10月に開設したホームページを使って幅広く発信し、地 域内外からの新たな参加者を募ると同時に、都市住民との交流を目的とした体制づくりに取り組む。

⑥農村における最大の課題」である「地域の農業、農村環境を誰が担い、守っていくのか」についても真剣 な話し合いを進め、担い手育成のための取組として、さまざまな機会(研修等)を通して知識、技能向上の場 を設ける。

⑦減農薬、減化学肥料・合鴨農法・JAS有機栽培農業という付加価値を、消費拡大の一つとして開設した UMRER、MIL于IN科・白陶展本・JA2号版和相展表という行が順幅を、消費拡大の一つとして開放した 三区町環境保全隊独自のホームページを使って、地域の環境負荷低減の取組を全国にPRし、販路の多様化 を図るとともに先進的な営農で栽培された農作物の知名度をさらに向上させることを推進し、このことにより 地域農業の担い手確保につなげていくための体制づくりを検討する。

⑧農村の自然景観を維持しながら、「"地域の和"で、花の咲く地域づくり」を推進するために、農道・水路沿 いにマリーゴールドを植栽すると同時に、将来の景観も考慮した「スイセン・ヒガンバナ」等の多年生植物の植 栽を積極的に実施する。

⑨地域内の歴史的施設の再発見を行いながら、地域の歴史と古き良き伝統を新住民に伝え、後世に残す ための活動として三区町の今昔誌を発行する。